



令和 8 年 9 月定例会

10 月 1 日(木) 一般質問に登壇します

いつも大変お世話になっております。浜名区・天竜区の静岡県議会議員の良知駿一です。

10月1日(木)、静岡県議会9月定例会において一般質問に登壇する予定です。今回の一般質問では、AIを活用した県政運営や雇用・教育への影響、フィジカルAIを生かした産業振興、地域公共交通、棚田地域の振興、災害時における特別支援学校の対応など、現在7つのテーマについて準備を進めています。本号では、現時点で予定している質問内容をご紹介します。

以下は8月28日現在の予定です。質問項目名・質問内容・質問順はいずれも「仮」で、今後の調整により変更する場合があります。

一般質問で取り上げる予定のテーマ

01

AIを活用した県政運営の 高度化について

AIの進化により、文章の作成や要約だけでなく、多くの情報を整理・分析し、人の判断を支援することも可能になってきました。県行政においても、こうしたAIを適切に活用し、より効果的・効率的な行政運営を進めていく必要があります。人口減少が進み、行政を担う人材や財源にも限りがある中で、限られた職員や財源を本当に必要なところへ振り向け、県民サービスの向上につなげることが重要です。税金を無駄にすることがあってはなりません。そのため、政策立案や施策評価、予算編成、人事など、県政の中核となる業務でもAIを職員の判断を支える仕組みとして活用できないか、県の考えを問います。

02

AIによる雇用構造の 変化への対応について

AIが社会に浸透していくことで、これまで人が担ってきた仕事の一部が自動化・省力化され、必要とされる仕事や技能も大きく変わっていくことが考えられます。その一方で、職人をはじめ、建設や介護、保育など、人が現場で直接担う仕事の重要性はむしろ高まり、こうした職業への人材の移動が進む可能性があります。現在でも、事務職では求職者が求人を上回る一方、建設や介護などの現場では深刻な人手不足が続いています。AIの普及による変化を見据え、必要な技能の習得や職種転換をどう支えるのか。あわせて、人手不足職種を「選ばれる仕事」にしていくため、県として何ができるのかを問います。

03

西部地域を起点とした フィジカルAI関連産業の創出について

各種報道でも取り上げられているように、自律型ロボットをはじめ、AIが実空間を認識し、自ら判断して行動する「フィジカルAI」は、今後大きく成長していくことが期待される分野です。西部地域には、静岡大学や浜松医科大学といった研究機関、浜松ホトニクスをはじめとする光関連企業、さらに輸送用機器などを中心とした多くのものづくり企業が集積しています。AIや情報科学、光・センサー技術、ものづくりの技術、そして製造・医療の現場が近くに存在することは、この地域ならではの強みです。フィジカルAIを単に導入するだけでなく、新たな製品やサービスを生み出す産業として育てていけないか、県の考えを問います。

04

全国棚田サミットの開催と 棚田地域の振興について

本年11月、浜松市で「全国棚田(千枚田)サミット」が開催されます。浜松市には、浜名区の「久留女木の棚田」「白檀の棚田」、天竜区の「大栗安の棚田」など、地域の皆さんによって守り継がれてきた棚田があります。一方、棚田地域では、農業者の高齢化や担い手不足などにより、棚田を将来にわたって維持していくことが大きな課題となっています。全国から棚田関係者が浜松を訪れる今回のサミットを一過性のイベントで終わらせず、そこで得られる知見やつながりを県内各地の棚田の保全・振興に生かすとともに、開催地の棚田地域の振興にどうつなげるのか、県の考えを問います。

一般質問で取り上げる予定のテーマ(続き)

05 地域の移動ニーズを 起点とした地域公共交通政策について

交通は、通勤や通学、買い物、通院など、日々の暮らしを支えるまちづくりの基盤です。特に公共交通は、高齢者や子どもだけでなく、若者にとっても地域で暮らすための重要な条件です。県の調査では、県外に転出した若者が静岡県に戻らなかった理由として「交通のアクセスが十分でなかった」ことが上位に挙げられています。また、全国的に若年層の自動車運転免許の保有率が低下傾向にあり、若者に選ばれる地域をつくるためにも、自家用車だけに頼らず移動できる環境が重要です。一方、公共交通は収支や利用者数が重視される中で縮小や廃止が進んできました。住民の移動ニーズを起点に、地域に必要な交通体系をどうつくるのかを問います。

06 AI時代における県立高校の 情報系専門学科の在り方について

AIやデジタル技術が社会のあらゆる分野に浸透し、高校でも「情報Ⅰ」が必修となるなど、情報に関する知識や技能は、すべての生徒が身につけるべき基礎的な力になっています。だからこそ、商業高校や工業高校などに設置されている情報系の専門学科には、一般的な情報教育のさらに先にある、より専門的な学びが求められます。単にパソコンやソフトウェアを使うだけでなく、情報を収集・分析し、AIやデジタル技術を活用して、仕事や社会の課題を解決できる力を育てることが重要です。情報系専門学科を高校教育の中でどう位置付け、どのような専門性を育み、大学や企業との連携などを通じて魅力ある学科へ充実していくのかを問います。

07 災害時における 特別支援学校の対応について

大規模災害では、あらかじめ決められた計画どおりに対応できるとは限りません。道路が通れない、予定していた避難所が使えないなど、想定外の事態に対して、その場にある施設や人員を活用しながら臨機応変に対応することが求められます。本来は一般の避難所として指定されていない県立特別支援学校にも、地域住民が避難してくる可能性があります。浜名区・天竜区には、西部・みをつくし・浜北・天竜の各特別支援学校があります。まず障害のある児童生徒の安全を確保した上で、一般の避難者が来る事態も想定し、避難スペースや動線、人員配置などについて平時から考え方を整理しておく必要があります。県としてどのように備えていくのかを問います。

議会ライブ・録画で、ぜひご覧ください！

本会議の様子は、静岡県議会のインターネット中継からご覧いただけます。当日のライブ中継に加え、後日、録画でも視聴できます。

**私が何を問い、県がどう
答えるのか。活動報告
だけでは伝えきれない実際
の議論も、ぜひご覧くだ
さい。**

静岡県議会 中継ページ



ライブ・録画中継

お知らせ

お話しませんか？

私と1～数人でお話しませんか？
内容はなんでも結構です。身の回りの困りごとやご相談、私のこれからの社会に対する考えなど…。
お話の場を通じて政策へのひらめきが生まれることもありますので、ぜひお気軽にご連絡ください！
事務所への電話やメール、ホームページからの問い合わせなど、ご連絡方法は問いません。(連絡先は下記)



事務所のご案内



静岡県議会議員

らち
良知しゅんいち事務所

連絡先

TEL : 053-523-7400
FAX : 053-523-7401

Mail : rachi0814@gmail.com
URL : <https://rachi-shunichi.jp/>

PROFILE

1982年●8月14日生まれ
1995年●気賀小学校 卒業
1998年●細江中学校 卒業
2001年●浜松商業高校 情報処理科 卒業
2005年●静岡大学 情報学部 卒業
2007年●静岡大学大学院 情報学研究科 修了
2018年●㈱リムコーポレーション 退社(研究開発に従事)
2019年●静岡県議会議員 初当選(浜松市北区(現浜名区) 選出:現在2期目)
2024年●静岡大学情報学部 客員教授 就任
●役職歴 総務・産業・厚生委員会副委員長、日印友好議員連盟事務局長 等

●社会活動

浜松市消防団北支団第1方面隊細江第4分団 分団員
細江町まちづくり協議会 顧問
浜松市子ども会連合会北区支部 顧問
浜松商業高校後援会 理事 等

